

はじめに

生成 AI とは、さまざまな文やアイデアを自動で作り出す人工知能のことです。たとえば、会話、ストーリー、画像、動画、音楽などを新しく作ることができます。こうした技術は、Microsoft や Google などのサービス、また学習アプリにも使われており、君たちも知らないうちに利用していることがあります。生成 AI は、「思考のパートナー」として、君たちの学習を手助けしてくれます。一方、使い方を間違えれば、君たちの成長を妨げたり、思わぬトラブルに巻き込まれたりする危険性も持っています。このガイドラインは、君たちが生成 AI を正しく、安全に、また、効果的に活用し、自分の成長に生かしていくための指針です。このガイドラインに従って、生成 AI を利用するようにしてください。

1. 生成 AI を知る

(1) 生成 AI の特性

生成 AI は、人の指示や質問（プロンプト）に応じて、内容を考え、まとめ、表現することができます。大量のデータを「学習」し、その知識をもとに文章、画像、音声、動画、プログラムなどを「生成」することができ、また、質問に答えたり、意見を交換したりして人と「対話」できる大きな特性があります。

(2) メリット

① 学習を手助けしてくれる

- ・ わからない内容を教えてくれたり、英作文やスピーキングの練習・評価を行ったりするなど、学習活動を多面的に支援することができる。

② 一人一人に合った教材を作ってくれる

- ・ 一人一人の学習レベルや興味に合わせて教材を生成でき、自分に合ったペースで学びを深めることができる。

③ 創造的な学びを手助けしてくれる

- ・ 探究学習やレポートの作成などにおいて、アイデアや視点を広げる手助けとなり、創造を助けてくれる

④ 効率的に学習を進めさせ、ICT を活用する力を育ててくれる

- ・ 学習を効率的に進めることができるほか、AI を適切に活用する経験を通して情報活用能力を高めることができる。

(3) デメリット（リスク：危険性）

① AI を頼りすぎてしまう

- ・ 生成 AI に頼りすぎることで、自ら調べ、考え、判断する力が弱まる恐れがある。

② 思考力・創造力が下がってしまう

- ・ AI の出力をそのまま用いることで、自分自身の考えや表現を深める機会が減る可能性がある。

③ 誤った情報を得る危険性がある

- ・ AI が誤った情報や偏見を含む内容などの信頼できない情報を出すことがある

④ 作成した人の著作権を侵害する危険性がある

- ・ AI で生成した内容が他者の著作物や画像、音声などに類似し著作権を侵害する恐れがある。

⑤ 安全や機密が守られない危険性がある

- ・ 生成 AI に個人情報や機密情報を入力すると、入力内容が AI に学習され、利用される恐れがある。

2. 基本姿勢 — AI との付き合い方

(1) 君たちが主体である

人間が主体です。思考するのは君たちです。AI はあくまで思考を補助するものです。AI に回答してもらって終わりにするのではなく、必ずなぜその答えが出てきたのかを考えてください。

(2) ファクトチェック（事実確認）を行う

AI の回答は、もっともらしく見えても、間違いや偏った情報を含んでいる可能性があります。必ず教科書や信頼できる情報源でファクトチェック（事実確認）を行い、その情報が正しいか判断する姿勢を持ちましょう。

(3) 思考を深めるために利用する

難しい内容の解説を求めたり、新たな視点やアイデアを得るために利用したりするなど、自身の思考を深める目的で活用しましょう。

(4) 先生の指示に従う

担当の先生が授業や課題ごとに「全面的に利用禁止」「部分的に利用を許可」といった指示を出し、「アイデア出しまでなら OK」「利用した箇所を明記すること」などといったルールを示します。必ず指示に従ってください。

3. 絶対にしてはいけないこと

(1) 個人情報を入力しない

自分や他者の氏名、住所、SNS アカウントなど、個人が特定できる情報は絶対に入力してはいけません。これは、自分と他者のプライバシーを守るための最も重要なルールです。

(2) 他者を傷つけない

悪口、差別、いじめに繋がるような、他者の尊厳を傷つける目的での利用をしてはいけません。

(3) 権利を侵害しない

他の人が創作した作品（著作物）の権利を侵害することのないように、特に以下の行為をしないでください。

- ・ 権利者の許可なく、文章や画像などを AI に読み込ませること。
- ・ AI に他者の作品を加工・改変させ、それを自分の作品として発表、また提出したりすること。

(4) 学習での不正使用

レポートや課題等を AI に作らせて、そのまま自分の成果物として提出するような不正行為は、自らの学びの機会をすてるようなもので、認められません。

(5) 不法・危険な行為に使わない

犯罪や生命に危険を及ぼすなど、法律や社会のルールに反するような利用は絶対にしてはいけません。

4. 保護者の利用許可と責任

(1) 保護者の利用許可

利用する生成 AI のサービスによって、利用者が未成年の場合、保護者の許可・承諾が必要なものがあります。必ず確認して利用するようにしてください。

(2) 責任は君にあります

生成 AI の利用は、自己責任が原則です。AI が生成した内容をどのように利用するか、その結果について最終的な責任を負うのは、利用者である「君自身」であることを肝に銘じておいてください。

はじめに

生成 AI とは、さまざまなコンテンツやアイデアを自動で作り出す人工知能のことです。たとえば、会話、ストーリー、画像、動画、音楽などを新しく作ることができます。こうした技術は、Microsoft や Google などのサービス、また学習アプリにも使われており、君たちも知らないうちに利用していることがあります。生成 AI は、「思考のパートナー」として、君たちの学習を手助けしてくれます。一方、使い方を間違えれば、君たちの成長を妨げたり、思わぬトラブルに巻き込まれたりする危険性も持っています。このガイドラインは、君たちが生成 AI を正しく、安全に、また、効果的に活用し、自分の成長に生かしていくための指針です。このガイドラインに従って、生成 AI を利用するようにしてください。

1. 生成 AI を知る

(1) 生成 AI の特性

生成 AI は、人の指示や質問（プロンプト）に応じて、内容を考え、まとめ、表現することができます。大量のデータを「学習」し、その知識をもとに文章、画像、音声、動画、プログラムなどを「生成」することができ、また、質問に答えたり、意見を交換したりして人と「対話」できる大きな特性があります。

(2) メリット

① 学習支援ツールとして活用できる

- ・ わからない内容を教えてくれたり、英作文やスピーキングの練習・評価を行ったりするなど、学習活動を多面的に支援することができる。

② 個に応じた学びの実現（個別最適化）

- ・ 一人一人の学習レベルや興味に合わせて教材を生成でき、自分に合ったペースで学びを深めることができる。

③ 創造的な活動を支援する

- ・ 探究学習やレポートの作成などにおいて、アイデアや視点を広げる手助けとなり、創造的思考を促すことができる。

④ 時間の効率化と ICT リテラシーの向上

- ・ 作業を効率的に進めることができるほか、AI を適切に活用する経験を通して情報活用能力を高めることができる。

(3) デメリット（リスク）

① 過度な依存のリスク

- ・ 生成 AI に頼りすぎることで、自ら調べ、考え、判断する力が弱まる恐れがある。

② 思考力・創造力の低下

- ・ AI の出力をそのまま用いることで、独自の考えや表現を深める機会が減少する可能性がある。

③ 情報の信頼性の問題

- ・ AI が誤った情報や偏見を含む内容などの信頼できない情報を出すことがある

④ 著作権・倫理上の問題

- ・ AI で生成した内容が他者の著作物や画像、音声などに類似し著作権を侵害する恐れがある。

⑤ セキュリティ（機密性・安全性）の問題

- ・ 生成 AI に個人情報や機密情報を入力すると、入力内容が AI に学習され、利用される恐れがある。

2. 基本姿勢 — AIとの付き合い方

(1) 君たちが主体である

人間が主体です。思考するのは君たちです。AI はあくまで思考を補助するツールです。AI に回答してもらって終わりにするのではなく、必ずなぜその答えが出てきたのかを考えてください。

(2) ファクトチェック（事実確認）を実践する

AI の回答は、もっともらしく見えても、間違いや偏った情報を含んでいる可能性があります。必ず教科書や信頼できる情報源でファクトチェック（事実確認）を行い、その情報が正しいか判断する姿勢を持ちましょう。

(3) 思考を深めるために利用する

難しい内容の解説を求めたり、新たな視点やアイデアを得るために利用したりするなど、自身の思考を深める目的で活用しましょう。

(4) 教員の指示に従う

担当の先生が授業や課題ごとに「全面的に利用禁止」「部分的に利用を許可」といった指示を出し、「アイデア出しまでなら OK」「利用した箇所を明記すること」などといったルールを示します。必ず指示に従ってください。

3. 絶対にしてはいけないこと

(1) 個人情報を入力しない

自分や他者の氏名、住所、SNS アカウントなど、個人が特定できる情報は絶対に入力してはいけません。これは、自分と他者のプライバシーを守るための最も重要なルールです。

(2) 他者を傷つけない

悪口、差別、いじめに繋がるような、他者の尊厳を傷つける目的での利用をしてはいけません。

(3) 権利を侵害しない

他の人が創作した作品（著作物）の権利を侵害することのないように、特に以下の行為をしないでください。

- ・ 権利者の許可なく、文章や画像などを AI に読み込ませること。
- ・ AI に他者の作品を加工・改変させ、それを自分の作品として発表、また提出すること。

(4) 学習での不正使用

レポートや課題等を AI に作らせて、そのまま自分の成果物として提出するような不正行為は、自らの学びの機会を放棄するもので、認められません。

(5) 不法・危険な行為に使わない

犯罪や生命に危険を及ぼすなど、法律や社会のルールに反するような利用は絶対にしてはいけません。

4. 保護者の許諾と責任

(1) 保護者の許諾

利用する生成 AI のサービスによって、利用者が未成年の場合、保護者の許諾が必要なものがあります。必ず確認して利用するようにしてください。

(2) 責任は君にあります

生成 AI の利用は、自己責任が原則です。AI が生成した内容をどのように利用するか、その結果について最終的な責任を負うのは、利用者である「あなた自身」であることを肝に銘じておいてください。